

## ガイアナ内政、経済、外交月間報告（2022年4月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

4月のガイアナ内政、経済、外交月間報告（カリコム動きを含む）は以下の通り。

### 1. 概況

- IMFは、ガイアナの成長見込みを22年47.2%、23年34.5%と発表。
- ロシア、ウクライナ問題につき、アリ大統領は、国連人権理事会からロシアの参加を除外する決議につき棄権を選択したのは、国際司法裁判所の調査報告を待っているからで、ウクライナを支援する姿勢に変わりはないと述べた。
- バルバドスでウォーターズ米国下院金融サービス委員長他とカリブ首脳とのカリブ金融アクセス円卓会議が行われ、カリブ諸国首脳が出席した。
- トッド外相は、中国・カリブ外相オンライン会合に出席し、50年の協力関係を確認し、この関係をより強化することを確認した上で、ひとつの中国政策に対するガイアナのコミットメントを再確認した。
- アリ大統領は、ハリス米副大統領とカリブ首脳とのオンライン会合に出席し、気候変動、化石燃料、課税政策等について協議した。
- UNOPSを通じた460万米ドル相当のカリブ諸国への医療機材支援のうち、ガイアナ分引渡し式が実施され、アンソニー保健相、ロッシUNOPSコストリカ事務所長、鎌田臨時代理大使が出席した。

### 2. 内政

#### (1) 新型コロナウイルス

- （20日報道）ガイアナ、ブラジル両政府は、汎米保健機構（PAHO）及びユニセフの支援のもと、ワクチン接種を拒否する先住民を含めた接種率向上のために協力する旨を発表。
- （21日報道）20日、汎米保健機構（PAHO）は、南米のグアテマラ、ガイアナ、パラグアイのワクチン接種率はいまだ50%に満たないと発表。
- （25日報道）25日より学校が通常再開した。
- （28日報道）28日、アンソニー保健大臣は、米食品医薬品局（FDA）によるファイザー社製新型コロナウイルス用飲み薬パクスロビドの承認を受け、政府調達に向けて同社と交渉中である旨を発表。
- （29日報道）サミュエルズ・チェディージェイガン国際空港広報官は、ガイア

ナへの渡航者のワクチン接種やPCR検査状況の確認の責任は、今後は、同空港ではなく各航空会社にあると発表。

## (2) その他の内政

- (6日報道) 野党連合APNU+APCは、与党による自然資源基金の使途が不適切であったと訴訟を起こした。
- (20日報道) アリ大統領は、ICTマスター・プラン2030年策定に向けたキックオフ会合に出席。
- (22日報道) 住宅・水省は、デメララ東岸に5000区画の住宅地の整備を開始した。
- (24日報道) テイセイラ議会担当・統治大臣は、IRI社が発表したガイアナの選挙制度改革についての報告書は、統一性がなく、実状を反映していないと述べた。
- (28日報道) 選挙委員会は、IDを発行する際に居住確認のための指紋認証を実施すると発表した。
- (29日報道) ジョーダン前財務相が、オグル地域の国有地を不当に販売したとして逮捕された。
- (29日報道) 議会は、生体認証付きの新パスポートを発行することを承認した。
- (29日報道) ジャグデオ副大統領は、第5地域のマハイカーバービスで演説し、公共事業を通じ、1000人の一時的な雇用が生まれるだろうと述べた。

## 3. 経済

- (1日報道) カリコム諸国初の世界貿易センターが設置される。(5日にセレモニーが行われ、2023年初旬には完成予定)
- (1日報道) 公共事業省は、クルプカリーレサム間の32の内陸部橋梁補修を含む31.9億ドル相当の建設関連契約に署名した。
- (4日報道) ガイアナは、2024年のFAO地域総会の開催国として選出された。
- (4日報道) 政府とエッソ探索生産社は、スタブロック海区内のイエローティール油井の開発の石油生産ライセンスに署名した。
- (5日報道) シン財務相は、スクリブン米州開発銀行Invest (旧IDB投資公社) 社長と面談し、民間投資の可能性につき協議した。
- (5日報道) 日本によるUNOPSを通じた460万米ドル相当のカリブ諸国への医療機材支援のうち、ガイアナ分引渡し式が実施され、アンソニー保健相、ロッシUNOPSコスタリカ事務所長、鎌田臨時代理大使が出席した。

- （5日報道）エクソン・モービル社は、2015年以降、ガイアナにおいて6億米ドルを投資、880社に寄与し、かつ3500名の雇用を提供したと述べた。
- （11日報道）ムスタファ農業相は、前政権によってインド企業と契約したものの機能していない9か所の排水ポンプ設備につき、引き続き交渉中であると述べた。
- （13日報道）政府はカナダ商業公社と政府調達についての協力に関する覚書に署名した。
- （15日報道）マンデラ・エックルス間を結ぶ4車線の高速道路が開通し、アリ大統領がテープカットをした。
- （15日報道）郭海燕大使はアンソニー保健大臣を訪問し、中国医療支援チームが24名の医師に対して専門研修を提供することを報告。
- （16日報道）フィリップス首相は、第7地域のバタビア先住民地区は太陽光発電により電化されると述べた。
- （17日報道）世界銀行は、2019年から21年の間、ガイアナは72.03%成長した、また同期間に世界でプラス成長を達成したのは12か国で、ガイアナのみが二桁の成長を達成と報告した。
- （20日報道）アリ大統領は、カヤット・パワーインターナショナル社会長を筆頭とするカタール投資ミッションと面談した。
- （20日報道）IMFは世界経済見通しを発表し、ガイアナの成長見込みを22年47.2%、23年34.5%とした。
- （24日報道）FPSO（浮体式生産貯蔵積出設備）リザ・ユニティによる石油生産は、政府に1.06億米ドルの収入をもたらすだろう。
- （24日報道）ガイアナと国境を接するブラジル、ロライマ州のチャガス・ボンフィン市長は、ブラジル企業は石油及びその周辺産業への投資機会を伺っていると述べた。
- （26日報道）IMFは、政府に対し、石油生産の協議に参加するだけでなく、生産物分与契約によりより高い利益を追求するべきであると指摘した。
- （26日報道）政府は、世銀より承認された石油関連産業整備のための2000万米ドルの融資への引出要請をまだ行っていない。
- （27日報道）ガイアナの石油推定埋蔵量は、110億バレルに達した。
- （29日報道）ガンガ中央銀行総裁は、米ドルが順調に流入していることから、1米ドル＝200ドル強の為替に変更はないだろうと述べた。
- （30日報道）IICA（米州農業協力機関）は、米州開発銀行の支援を得て第2、3、4、5、6、10地域で実施する生産コスト研修の第一回を修了した。

#### 4. 外交

- （5日報道）アリ大統領は、スリナム新大使信任状捧呈式において現在のスリナムとの関係は信頼と相互尊重のもと構築されていると述べた。
- （7日報道）ガイアナ国防軍のバス代表はカリブ諸国防衛会合に出席。
- （8日報道）国連人権理事会によるロシアの理事国資格停止の決議で、ガイアナは棄権した。
- （8日報道）アリ大統領は、5月にカリコムと共催予定のカリコム農業投資及びエキスポ公式発表の場で、地域における2025年までに食料輸入額の25%は目標ではなく、世界の課題を背景とする必須事項であると述べた。
- （9日報道）アリ大統領は、国連人権理事会でのロシアの参加を停止する決議に棄権したのは、詳細報告を待っているからで、ウクライナを支持する姿勢に変わりはないと述べた。
- （18日報道）中国大使館は、スタブロック紙に対し、安倍元首相がロシア・ウクライナ問題に関して、中国と台湾の関係を比喩した記事を掲載したことへ抗議の書簡を送った。これに対し、スタブロック社は言論の自由であると反論。
- （20日報道）ブリンケン米務長官が今年6月にガイアナを来訪予定と報道したが、米国大使館は未定と回答。
- （21日報道）シン財務相は、IMF及び世界銀行の春季会合に出席のためワシントンを訪問。訪問中にはルイス米輸出入銀行総裁とも面談。
- （21日報道）UNDPは農業省に対し災害対策を目的とした雨量計45個と計量瓶90個を供与することで合意した。
- （22日報道）ガイアナは、OASでのロシアのオブザーバー資格停止に賛成を投じた25か国のひとつ。
- （23日報道）ベス・ガイアナ国防軍准将は、ブラジルで開催された米州陸軍会合に出席し、多国間、二国間の会談を行った。
- （25日報道）スリナムで開催される地域安全保障会合にベン内相が出席。
- （25日報道）米国国務省が発表したガイアナの人権報告によれば、ガイアナ国民の多くがあらゆる政府レベルで汚職が存在していると感じている。
- （25日報道）ブラジル海軍の艦船ナッポック・イグアテムがカリブ地域での演習Caribex 2022を終了後、寄港し、出港した。
- （27日報道）インドで開催されたライシナ・ダイアログに、トッド外相が出席し、モディ首相に表敬した。日本からは、山崎統合幕僚長が出席。
- （29日報道）28日、トッド外相は、中国・カリブ外相オンライン会合に出席し、50年の協力関係を確認し、よりこの関係を強化することを確認した。同外相は、ひとつの中国政策に対するガイアナのコミットメントを再確認した。
- （30日報道）アリ大統領は、ハリス米副大統領とカリブ首脳とのオンライン会合に出席し、気候変動、化石燃料、課税政策等について協議した。大統領は、

より強い米カリコム間の信頼関係の構築を求めた。

- （30日報道）ライシナ・ダイアログ出席のためインドを訪問中のトッド外相は、ジャイシャンカール・インド外相、カフィエロ・アルゼンチン外相と個別会談を行った。
- （30日報道）アリ大統領は、ジョンソン首相との面談後、英国に対して大陸間奴隷貿易について謝罪及び平等な関係の構築を求めた。

## 5. カリコムの動き

- （2日報道）1日、カナダ・カリコム外相会合を開催。カナダのジョリー外相とベリーズのコートニー外務・貿易・移民大臣が共同議長を務め、持続可能性、回復力、気候変動対策、共通の価値観へのコミットメントを強化。ウクライナに関し、採択された国連総会決議に留意し、国連憲章への支持を再確認し、領土の一体性と主権の尊重を求め、民間人の犠牲と人道的状況への懸念を表明した。
- （4日報道）カリコム諸国首脳はジョンソン＝スミス・ジャマイカ外相が英国連邦の事務局長に立候補すると述べたことについて協議する予定。
- （4日報道）カリコムは、サービス部門の9分野のSWOT分析を実施し、専門、郵便及び郵送、保健福祉、文化と演芸、スポーツ、教育、観光の7分野のものを承認した。
- （7日報道）カリブ地域漁業メカニズム（CRFM）とカリコム治安及び安全保障実施機関（IMPACS）は、UNDP、ノルウェーの支援を受け、漁業分野における不法操業及び組織犯罪につき、協議を行った。
- （8日報道）4～7日、バルバドスで、米国南方軍主催で、カリブ海諸国安全保障会議（CANSEC）2022が開催され、各国の国防大臣級が参加。
- （8日報道）カリコムは、英連邦事務局長へ立候補している2名の候補と会合を持つと報道。
- （11日報道）バーネット・カリコム事務局長は、セントルシアを訪問し閣僚と懇談し、地域における気候変動対策と農業振興の重要性について確認した。
- （18日報道）UNESCOは、EU-ACP開発基金文化プログラムより、カリブ15か国に対し、クリエイティブ・カリビアン成長と発展のためのエコシステム・プロジェクトとして、300万ユーロの支援を発表した。
- （18日報道）5月12日、第2回世界新型コロナサミットが開催予定で、カリコムよりベリーズが代表して共同議長国を務める。
- （20日報道）バルバドスでウォーターズ米国下院金融サービス委員長他とカリブ首脳とのデリスキング及びコルレス銀行に関する円卓会議が行われ、カリブ諸国首脳が出席した。
- （21日報道）OASがロシアのオブザーバー加盟権停止決議案を採択。（賛

成票25、反対票0、棄権8、欠席1)。

●(25日報道)16日、カリコム地域漁業メカニズム(CRFM)は、第16回通常会合を開催し、これまでの進捗を確認した上で、今後の課題について協議した。また、3月に実施されたFAOラテンアメリカ及びカリブ地域総会において、ノルウェーからの調査船を派遣し、カリコム地域の水産資源の調査を実施することを要請したことを報告した。

●(27日報道)IMFは、2021年のカリブ諸国の成長率は、2.8~4.7%で、資源輸出国のガイアナ、スリナムの平均は、昨年の20.2%から今年は16.4%へ下降するとの予測を発表した。

●(29日報道)26、27日にカリブ地域における不法移民が増加している件につき、IOMとカリコムIMPACSが会合を共催。

※これは、報道等公開情報をまとめたものであり、報道の真偽まで確かめたものではありません。